

第157話 川西三十三観音

中山町 歴史散策



岡千手観音堂

文政6年（1823年）、山辺町の「正福寺文書」には、川西三十三観音の明細を記した文書が残されています。川西とは、須川、最上川の西岸並びに流域の村々を言うのですが、主に中山町、山辺町の行政区域に含まれる地域のことを指しています。ここにある寺院のうち、観世音を祀った32か寺、ほかに山形市に属する1寺を加えて、長期の旅行に耐えられない人々のための参拝処となっています。

川西三十三観音の巡拝経路は、岡千手観音堂から長崎5寺、それより山形街道を上り、新田、達磨寺、向新田、山辺領の高楯3寺、山辺4寺、次

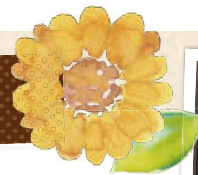
いで西部丘陵地沿いに進み、三河尻、さらに山形領の反田泥鰯観音、反転して山沿いの村を巡り、脇街道を山辺領北垣から金沢、岩谷に戻る2日ほどの道順となっています。

ちなみに、本町に関わる諸寺は、一番岡観世音堂、二番玉昌寺、三番満願寺、四番龍昌寺（柳沢寺）、五番円同寺、六番正法寺、七番天性寺、八番文新田観世音堂、九番達磨寺、十番向新田観世音堂となっています。帰路の三十一番金沢白山堂、三十二番柳沢寺、そして三十三番岩谷十夜観音堂が巡拝納めの寺となっています。

これらの観音堂は、必ずしも観世音が本尊とは言い難く、たまたま観世音像が安置されていた寺を網羅しただけのものもあります。従って、巡拝者も最上三十三観音詣でに比べれば、人数においてもさして大勢とは言えないものの、少ない日数で巡拝できる点で、高齢者にも親しまれた観音参拝行程であったと言えます。

※引用 中山町史 中巻
第10章第1節 庶民と信仰

私たちが地域おこし協力隊です！ No.24



こんにちは、地域おこし協力隊の伊藤です。

2月に着任させていただいて、もうすぐ2ヵ月が経過しようとしています。今回からコラムを書かせていただきますので、よろしくお願いたします。

さて、2ヵ月が経過して、私自身、中山町の人々と接し、町の雰囲気や歴史文化に触れる中で、日に日に中山町を好きになっている自分というものを発見する今日この頃。着任前に感じていた中山町の魅力が、着任後、実際に町を知り、いろいろな体験をしていくことでより深く実感できるようになってきたと思います。

この2ヵ月間、2019年9月に国から重要文化財に指定された『旧柏倉家住宅』の一般公開に向けての準備を中山町教育課の皆様と共に進めてまいりました。公開に向けていろいろな準備を進めていく中、3月23日には、『旧柏倉家住宅』の事務所開きが行われました。

これからもいろいろな経験をさせていただくと思いますが、町のために貢献できるように努めてまいります。

4月3日から旧柏倉家住宅^(※)は、毎週金曜日～日曜日の3日間と祝日に一般公開しておりますので、皆様ぜひお越しください。柏倉家住宅でお待ちしております。



事務所付近の表札



バリバリ活動しています

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、当分の間、公開延期とさせていただきます。

●協力隊への問い合わせ先● メール：nakayamanonaka@gmail.com 事務所：中央公民館2階